

アルテピア

社団法人 北海道美術館協力会

札幌市中央区北 2 条西17丁目 TEL・FAX 011-644-4025



神山明「いつもの道に迷いこむ」

1988（昭和63）年 スギ、オイルステイン 高さ170.7×径300.0cm（北海道立旭川美術館蔵）

神山明は東京生まれで、東京芸術大学でデザインの基礎造形および理論の専攻を修了している。その活動は1980年代から注目されるようになり、第2回ヘンリー・ムア大賞展（1981）で佳作賞を受賞したのを皮切りに、現代日本美術展、日本国際美術展などで受賞を重ね、各地の美術館の企画展への出品も多い。また、1989年には第20回サンパウロ・ビエンナーレに選抜されて注目された。

この作品はサンパウロ・ビエンナーレに出品された

中の1点で、代表作の一つである。円形劇場のような多重の円構造の中に柵、梯子、月、船（?）、線路、電柱、球などが配置され、一つのパノラマのような空想的世界が現出する。素材は古びた茶色に塗られた杉材で、未知でありながらどこかノスタルジックな空間を演出するのに一役買っている。それは神秘の迷宮のようでもあり、子供の遊び場のようでもある。人の精神を解放し、自由な想像の世界へと誘う作品といえよう。

ピカソ展

— 幻のジャクリーヌ・コレクション

(北海道立近代美術館学芸第二課長・柴 勤)

パリのマレ地区、ポンピドゥー・センターからさほど遠くないところにピカソ美術館があります。この美術館、ピカソの死後、相続税の代わりとして遺族により国家に納められた膨大な作品を基に誕生しました。ピカソが活躍した広範囲な分野と生涯のあらゆる段階を網羅しており、ピカソを知るには最適の美術館です。それに加え、オルセーでも、ルーヴルでも、ましてポンピドゥー・センターでは決して味わえない、優雅で落ち着いた雰囲気には捨て難い魅力があります。

さて、ピカソが亡くなったから、ほぼ三〇年がたちます。しかし、その人気は衰えるどころか、むしろ高まっているような気さえします。ピカソ美術館はいつも熱気に溢れていますし、世界各地で開催された展覧会を取り上げたら、それこそ膨大なリストが出来上がるでしょう。日本でも状況は軌を一にしますが、近年も、上野の森美術館などで立て続けに大型のピカソ展が企画されて大きな話題を呼んでいます。道内の状況はというと、何より国内最大のピカソの版画コレクションを有する荒井記念美術館が一九八九年に岩内岳のふもとにオープンしたことが注目されます。また展覧会としては、近代美術館や函館美術館が「ピカソ陶芸展」、「ピカソ版画展」、「不滅の巨匠―ピカソ展」、「ピカソ―愛とエロチシズム」などで、各ジャンルにまたがる作品を紹介しています。

さらにピカソの作品を含む近現代のヨーロッパ美術を概観する企画となると、あの懐かしい「フランス美術栄光の三〇〇年」(近代美術館が開館して二年後でした)をはじめ、リストアップするのにも手間取るほどの数になります。中でも「ファン・アッペ美術館所蔵―変貌する二〇世紀絵画展」(近代美術館)では変革者のトップバッターに、逆「印象派からピカソへ」(旭川美術館)では、タイトル通り近代から現代への転換点にピカソを位置づけています。さらに書店の美術コーナーをのぞけば、単行本はもとより、文庫、新書、画集、写真集など、エッセイから伝記、本格的な研究書にいたるまで手に取るのにも戸惑うほどピカソ関連図書が目に入るはず。ピカソはまさに「不滅の巨匠」なのです。

ところで、いよいよ今年の七月一九日からほぼ一ヶ月半にわたり近代美術館で開催されるピカソ展ですが、この内容は、これまでの企画とは大分様相を異にします。何しろ、「ジャクリーヌ」の「幻」のコレクションなのですから。ジャクリーヌとは、ピカソが正式に結婚をした一人の女性のうち、晩年の二〇年ほど生活を共にし、最後を看取った四五歳年下の妻、ジャクリーヌ・ロックのことです。そして、遺産相続後、その手元に残されたピカソの作品群は、これまでモントリオールやジュネーヴ、バルセロナなど世界でも片手で数えられ



ピカソ「白い襟の子供(ポール)の肖像」1922年
© 2004-Succession PabloPicasso-SPDA (JAPAN)

るほどの展覧会にしか出品されていません。もちろん日本にいたっては皆無です。これが「幻」と名づけられた所以です。

ピカソは一九七三年、九一歳でその波乱に富んだ人生に幕を降ろしました。遺産として残された作品は、大雑把に言えば、油彩二千点、彫刻千二百点、陶器三千点、デッサン七千点、版画にいたっては二万七千点以上という天文学的な量です。この他にも約一五〇冊のスケッチブックやタペストリー、敷物など、さらには五軒の邸宅もあり、当時の日本円にすると遺産総額は六九〇億円にも達したそうです。しかし、遺言は何一つ残されなかったことから、当然の如く相続問題が起りました。最終的にはジャクリーヌおよび最初の妻オルガの長男ポール（オルガは既に死亡していました）、そのほか恋人との間にできた子供たち、計六人の相続権者によって分配さ

れることになりました。ジャクリーヌは、生活を共にした晩年の作品を多く相続した訳ですが、それらはピカソ自身が手放さずに手元に置いた愛着の強い作品ということができるでしょう。あまり公開されずにきたのも、相続時の揉め事に加え、そうしたピカソの想いを大事にしたからではないでしょうか（これは、あくまで想像なのですが）。



ピカソ「緑色と黄色の帽子をかぶって座る女」1962年
© 2004-Succession PabloPicasso-SPDA (JAPAN)

ベラはいつも輝いていました。婚約時代の初々しいベラ、花嫁衣裳のベラ、パリのベラ、花束を抱くベラ、宙を舞うベラ。画面のいたるところから「ベラ、ベラ」と最愛の妻をいとおしむシャガールの甘い声が聞こえてきそうです。

一方、ピカソの人生には多くの女性が、時には目まぐるしいほどに登場します。一九〇四年に出会って熱烈な恋に落ちたフェルナンド・オリビエから、七九才の時に妻を迎えたジャクリーヌまで、その間に関わった女

性は、エヴァ・グエル、オルガ・コクローヴァ、マリー・テレーズ、ドラ・マール、フランソワーズ・ジロート、よく知られている名前を列挙するだけでも圧倒されそうです。それも、二人、三人と重なっている時期さえあるのです。

しかし、しかしです。これらの女性が、何と多くのインスピレーションをピカソに与えていることか。何と豊かで多彩なモチーフを、テーマを生み出していることか。シャガールとは全く対照的な生き方でしたが、ピカソの人生はもちろん、その芸術においても女性の存在を欠かすことはできないようです。

柴 勤 (しば つとむ)
茨城県土浦市生まれ
北海道にあこがれ北大に入学
道立近代美術館、道立函館美術館を経て2002年秋より現職
専門 フランス近代美術 (エコール・ド・パリ)
著書 ミュージアム新書 「未完のランナー 深井克美」

展覧会のご案内

「ピカソ展－幻のジャクリーヌ・コレクション」
会 期 7月19日(月)～8月29日(日)
休 館 毎週月曜日(7月19日を除く)
時 間 午前9時30分～午後5時(金曜日は午後7時30まで)
観覧料 一般 1,200円(1,000円)
高大生 700円(600円)
小中生 500円(400円)
()内は前売りおよび10名以上の団体料金

主 催 北海道立近代美術館
北海道新聞社
UHB北海道文化放送

近代美術館

没後30年 香月泰男展

「私の」シベリア、そして「私の」地球
六月二日(水)〜七月一日(日)

香月泰男は一九一一年(明治四四年)、山口県三隅村(現・三隅町)に生まれた。少年時代から画家を志し、東京美術学校(現・東京芸術大学)を卒業後、北海道の旧制倶知安中学校や下関高等女学校の美術教師をつとめながら、国画会や文部省美術展覧会に出品。一九四三年に召集されて満州(現・中国東北部)へ出征。ついで一九四五年の敗戦でシベリアの収容所に送られ、飢餓と強制労働、極寒の生活を強いられた。こうした

体験が、代表作(シベリア・シリーズ)に結晶した。その一方、「私の」地球と呼んだ故郷三隅町の自然と身のまわりのモチーフも多く描いている。本展では、「シベリア・シリーズ」全五七点を中心とした初期から晩年までの代表作に、陶画、テラコッタ、自ら「おもちゃ」と呼んだ廃品を用いた愛らしい小彫刻などをあわせて展示、その全画業を紹介する。



《青の太陽》1969年
山口県立美術館蔵

三岸好太郎美術館

三岸美術館へのリクエスト

「好太郎TOP50、先輩へのメッセージ」

節子も見たい

七月二日(金)〜九月五日(日)

近年、展覧会を鑑賞するだけでなく、より多様な方法で主体的に美術館に関わろうとする市民が増えています。このたびの展覧会は、市民から寄せられたさまざまなリクエストに応えるとともに、参加、交流の場を提供しようとするものです。

「好太郎TOP50」
ホームページ及び投票用紙を兼ねた



三岸節子《雷がくる》1979年
名古屋市美術館蔵

「節子も見たい」
来館者から見たいという要望の強い三岸節子作品約一〇点をコーナーを設けて展示します。

チラシによって、三岸美術館所蔵作品の人気投票を行い、上位五〇点を、感想・推薦文とともに展示します。
「先輩へのメッセージ」
好太郎の母校である北九条小学校の児童が、好太郎に関連するテーマで描いた絵画を紹介します。

旭川美術館

いきもの図鑑

牧野四子吉の世界

六月五日(土)〜七月一八日(日)

牧野四子吉(まきの・よねきち) 一九〇〇(八七)は、誰もが一度は目にする『ファーブル昆虫記』や『広辞苑』をはじめ多くの図鑑や教科書などに生涯にわたって三万点を超える挿絵を描きました。牧野は函館に生まれ、幼くして上京。大正デモクラシーの自由な雰囲気の中で青春時代を過ごし、昭和四年には京都に転居。京都帝国大学理学部動物学教室の嘱託として二〇年間学術的生物学の制作に没頭しました。それまで日本画家の副業のようにみられていた動物物の挿絵を「生物生態画」といわれる独立



《五ころがしの観察》
より
『ファーブル昆虫記』

にお楽しみください。

した分野にまで高め、牧野はそのパイオニアとして広く知られるようになりまし。とりわけ『広辞苑』の挿絵原画は極細の描線で正確さを失わず大胆な簡略化が施され、高い評価を得ました。また、牧野の名声はアメリカの大学や博物館にも及び論文や図鑑に挿絵が掲載されました。

函館美術館

フランス一九世紀絵画展

コロ、モネ、ルノワール・ロマン派から印象派へ

四月二日(日)〜五月一六日(日)

一九世紀のフランスは、フランス革命の余燼を残したナポレオンの帝政時代で幕を開け、王政復古、七月革命、普仏戦争といった政治的変動が続く一方、産業革命による工業化、鉄道など近代技術の発展による生活様式の変化など、大きな社会の変化がありました。それらは同時に時代の画家たちにも大きな影響を与え、さまざまな絵画の流れが生まれるとともに、多くの巨匠たちがその個性を競いあつて



クロード・モネ
《水辺》1883年
日没美術館蔵

ラ、ボナールなど、まさに「星のごとき天才画家を排出した一九世紀フランス絵画の名宝をお楽しみください。

絵画の黄金時代を築き上げました。

本展は、ボルドー、リール、ナンシー、レンヌ、トゥールといったフランス各地の美術館から多彩な作品を選び、新古典主義、ロマン派、バルビゾン派、写実主義を経て、印象派や世紀末絵画へといたるフランス一九世紀絵画の流れを紹介するものです。ロマン派の巨匠ドラクロワ、バルビゾン派の詩人画家コロ、写実派の巨人クールベ、そして印象派のモネやルノワールのほか、ゴッホ、ルドン、ス

帯広美術館

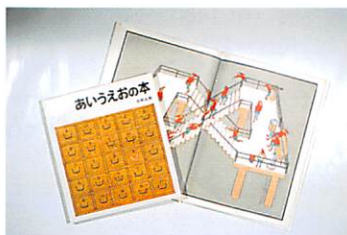
安野光雅・絵本の世界展

六月四日(金)～七月一四日(水)

島根県に生まれた安野光雅(あんのみつまさ)は、自在な空想力とユーモア、豊かな情感にあふれる絵本によって、子供から大人まで世代を超えて多くの人々に親しまれ続けています。また、国際アンデルセン賞をはじめ、数々の賞を受賞するなど、国際的な絵本作家としての業績は内外で高い評価を得ています。

本展では、デビュー作となった『ふしぎなえ』などの初期の作品をはじめ、『天動説の絵本』や『空想の絵本』といった知的なファンタジーを描いた作

品、さらに、日本の唱歌を扱った『歌の絵本』や世界各地に取材した『旅の絵本』のシリーズなど、主要な絵本原画一〇〇点に加え、これまで刊行された初期から最新作までの一〇〇冊の絵本を展示し、安野光雅の世界を振り返ります。



安野光雅の絵本

知的好奇心
心と遊び心
に彩られた
その世界は、
見ることに
喜びへと導
いてくれる
でしょう。

釧路芸術館

オランダが生んだ靴の魔術師 ヤン・ヤンセンの世界展

七月一〇日(土)～九月一五日(水)

ヤン・ヤンセン(一九四一年生)は、一九六〇年代からヨーロッパ・ファッション界の流行をリードして活躍を続ける靴デザイナー。四〇年以上にもわたる彼の手がけてきたユニークな靴の数々は、歩くための基本的な機能を備えつつ、絶妙で斬新なデザインによって、華麗なオブジェに変身したかのように魅力的にきらめきます。そこには、少年時代から親しんできた靴づくりへの深い愛情と、前衛的・実験的精神が

満ちあふれています。

本展では、この知られざる巨匠ともいえるヤンセンの、まるで魔術を眼にするような独創的なデザインの世界が、初めて日本で紹介されます。優美、洗練、気品、情熱を持ってきらびやかに輝く、多彩な美の足音が聞こえるでしょう。一三〇点の優雅な代表作をご覧いただけます。



ヤン・ヤンセン
『Swinging Nun』2003年

芸術の森美術館

作家からの贈りもの展

―アトリエで生まれたおもちゃたち―
四月四日(日)～五月二三日(日)

内省と表現を繰り返すアーティストたちにも、はりつめた緊張から解放されるひとときがあります。それは、『芸術家』という枠から脱し、なにもにもとらわれないことなくおもちゃや小品を手慰みに作っているときであったり、我が子や我が妻のことだけを思い、手作りのプレゼントに夢中になっているときです。本展は、名だたる作家一人の、それら余技的に制作された「愛玩物」や近しい者に向けての手作りの「プレゼント」を「作家からの

贈りもの」と称し、本来、人の目には触れることのない貴重な作品群を一堂に紹介するものです。

出品点数は、各作家の代表作(本作)も含め約二九〇点。

〈出品作家〉

ライオネル・ファイニンガー、パウ
ル・クレイ、パブロ・ピカソ、藤田嗣
治、アレキサンダー・カルダー、猪熊
弦一郎、香月泰男、本郷新、若林奮、
有元利夫、舟越桂(生年順)



舟越桂
『ヤキの形をした木馬』
1982年

札幌彫刻美術館

野外彫刻の魅力

―一九六〇年から晩年まで―
三月二七日(日)～八月二二日(日)

一九八〇年に七四年の生涯を閉じるまで、彫刻の中でも野外彫刻の美を探求しつづけた本郷新。本郷の円熟期といえる五〇歳代から晩年までのおよそ二〇年間に制作した野外彫刻に関する作品をご覧いただけます。

野外彫刻の依頼を受け、構想を練るために描いた素描やエスキース、設置された場所での写真パネルなどを展示します。記念館では、テラコッタの作品を展示します。テラコッタとは、粘土をこね、

かたちを作り焼成して完成する作品です。素朴な風合いをしているテラコッタの作品は、遊び心に溢れています。思いつくまま、様々なかたちを実験的に試すには、適した素材といえます。

一九六六年から六九年の三年間に集中してつくられたテラコッタは、手のひらにのるような物から、頭像など三〇センチ以内の小品ばかりです。

野外彫刻とテラコッタ作品を比較すると、素材の違いだけではなく、本郷の彫刻家としての多面性を垣間見せてくれます。



石川啄木像のエスキース

MUSEUM CALENDAR

2004. 4月～10月

美術館の特別展覧会ご案内

※貸館の場合は、会員証は使えません

	4	5	6	7	8	9	10	
近代美術館		4/17～5/23 貸館 (近代日本画に見る女性たち)	6/2～7/11 没後30年 香月泰男展 <私の>シベリア、 <私の>地球		7/19～8/29 ピカソ展 幻のジャクリーヌ・コレクション		9/11～10/24 NANMOSA 流政之展	
三岸好太郎	4/5～6/27 所蔵品展(第1期) カメレオニスムー変貌の軌跡			7/2～9/5 三岸美術館へのリクエスト ー好太郎TOP50、先輩への メッセージ、節子も見たい		9/10～11/14 所蔵品展(第2期) 魅惑の女性像		
旭川	4/10～5/30 日本近代洋画への道展		6/5～7/18 牧野四子吉展		7/24～9/5 石山寺と紫式部展		9/11～10/24 所蔵品展 題名のない展覧会	
函館	4/11～5/16 フランス19世紀絵画展 コロ・モネ・ルノワール ー新古典派から印象派まで		5/29～7/19 リートフェルトの色とかたち		7/24～9/5 世界の絵本作家展		9/12～11/7 スーパーリアリズム展	
帯広	4/6～5/26 アメリカ現代美術展第2部 ローゼンクイスト：(水の惑星へようこそ) 全シリーズ特別公開		6/4～7/14 安野光雅・ 絵画の世界展		7/23～8/22 貸館 (松浦武四郎・ 時代と人々)		9/3～10/13 ピカソ、マティスと 20世紀の画家たち	
釧路	4/17～6/30 華麗なる17世紀ヨーロッパ絵画 ～ルネッサンスからバロックへ			7/10～9/15 オランダが生んだ靴の魔術師 ヤン・ヤンセンの世界展			9/25～11/23 土の手をやすめて ～佐藤忠良の スケッチブック	
札幌彫刻	3/27～8/22 野外彫刻の魅力 ー1960年代から晩年までー					8/27～10/11 北の彫刻展2004 ー新しい具象ー		10/16～ 3/21 ひとかたち ー躍動する 人体の魅力
札幌芸術の森	4/4～5/23 作家からの贈りもの展 ーアトリエで生まれた おもちゃたちー		6/5～8/22 草間彌生展 クサマトリックス			8/29～10/11 彫刻家 堀内正和の世界展		10/17～ 12/5 丸山隆展

お知らせ

近代美術館の次の展覧会は貸館ではありますが、各々
会員証を提示すると

「近代日本画に見る女性たち」(4月17日～5月23日)は

1,100円 → 800円

「ヴィクトル・ユーゴとロマン派展」(1月26日～2月20日)は

1,000円 → 700円

で、ご覧になります。(別紙参照)

安田 侃

「天 秋」

ーSecret of the skyー

ー2002年作

近代美術館 2 Fロビーに展示

(寄贈 安田 侃の
世界展サポーター会議)



美へのかけ橋

アルテピア会員募集

世界の art に出会える

来館者の声

「SOUL OF ASIA」を見て

アジアの美術というので、少々古い？美術を想像していましたが、現代の美術作品を堪能してきました。そして、同じ「アジア」であっても、それぞれの国の特徴があり、特に若い美術家の表現が心に残りました。7月の「ピカソ展」も楽しみです。 今 えい子

年会費等詳細は北海道美術館協会の（アルテピア）札幌市中央区北2条西17丁目 TEL・FAX 011-644-4025

ホームページアドレス <http://www.artepia.or.jp>



オリジナル トートバッグ

「ピカソ展」関連グッズ



近代美術館売店商品

編集 だより

新聞等で周知されておりますが、七月一九日から「ピカソ展」が近代美術館で始まります。

また、それぞれの道内美術館で魅力的な美術展が開催されます。

人は体内にいくつもの扉を持っている……といえます。

そして、その扉を開けるのも、開けないのも自分である……との言葉があるそうです。

さあ、今年も扉を大きく開けて、美術を楽しみましょう！

ご存じですか？

道立近代美術館 ハイビジョンコーナー

60インチのハイビジョン映像により、19世紀のフランス美術の世界を、日本国内の作品によって紹介しています。